



慶應義塾大学グローバルCOEプログラム 論理と感性の先端的教育研究拠点

慶應義塾大学 CARLS 哲学・文化人類学グループ 研究セミナー

Anthropological Approaches to Emotion 感情の人類学：映像からのアプローチ

日時：2009年12月16日(水) 9:30~12:20

場所：慶大三田校舎東館4Fセミナー室 <http://www.keio.ac.jp/access.html>

本セミナーでは、文化と感情の問題を、学術映像とアート、宗教・医療の間に横たわる諸問題とつきあわせ、映像人類学の原光景とかかわる根源地平に立って検討します。さらに、今日めざましく発展・革新された映像手法を用いて新たな映像人類学的作品が生み出されている状況に照らして、宗教・医療の視点からこの課題包括的に協議します。

The goal of today's seminar is to have a close look at the anthropology of emotion through a new understanding of visual anthropology which is based on the merging of documentary and art forms of ethnographic film. This reflection on some of the new developments in visual anthropology will be illustrated and further elaborated by the case of religious emotions.

Prof. Karl G. Heider (サウス・キャロライナ大学・文化および映像人類学)

“The Significance of Anthropology of Emotion in Visual Anthropological Understanding”

新井一寛 (京都大学・宗教学・映像人類学)

「宗教感情を捉える映像実践の条件」

指定討論者 **大石高典** (京都大学・生態・象徴人類学)

司会・総括討論 **宮坂敬造** (慶應義塾大学・文化人類学)

会費無料・事前登録は不要。

主催・企画 慶應義塾大学内・相互的感情身体知の文化医療人類学・人間科学研究会
慶應義塾大学GCOE「論理と感性の先端的教育研究拠点形成」文化人類学チーム

●お問い合わせ先●

慶應義塾大学・文学部・人間科学専攻研究室

宮坂敬造

FAX 03-5427-1578

Centre for Advanced Research
on Logic and Sensibility